

令和4年度 第3回 安曇野市水環境審議会 会議概要

1	審議会名	令和4年度 第3回 安曇野市水環境審議会
2	日 時	令和4年11月25日 午後2時00分から午後3時30分まで
3	会 場	安曇野市役所 本庁舎3階 全員協議会室
4	出席者	遠藤委員(会長)、村上委員(副会長)、中屋委員、保尊委員、丸山委員、増田委員、武井委員、山地委員、岡江委員、矢花委員、宮澤委員、平林委員、池田委員、崎元委員
5	市側出席者	山田市民生活部長、山口環境課長、百瀬環境課長補佐、藤原環境政策担当主査
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	1人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	令和4年11月29日

協 議 事 項 等

次第

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 報告事項
 - (1) 節水・涵養に係る事業者ヒアリング結果について
 - (2) 安曇野環境フェア 2022「安曇野水めぐり」について
- 4 協議事項
 - (1) あづみの水結のロゴマークについて
- 5 その他
- 6 閉会

会議概要

- 1 報告事項
 - (1) 節水・涵養に係る事業者ヒアリング結果について

【事務局から資料1に基づき説明】

 - ・ヒアリング対象事業者は60者で、ヒアリング実施事業者は36者ということだが、ヒアリングを実施できなかった事業者はどういった理由で実施できなかったのか。

⇒ヒアリングへの協力依頼はしたが、「あまりお話できることもない」、「忙しいので対応することが難しい」などといった理由でヒアリングを実施することができなかった。

 - ・今回の事業者ヒアリングの結果、ほかの事業者にも促していくことができる節水や涵養に係る取組がいくつかあったとのことだが、どのような方法で進めていくのか。

⇒事業者にお伺いできる機会やお話できる機会があれば、そういった場を活用させていただきながら、取組内容の周知を図っていきたい。

 - ・エコタッチの取付けについては、事業者だけではなく、個人でも取り組んでいけることだと思うがどうか。

⇒節水の取組として市ホームページに掲載し、事業者だけではなく、市民の方々にも広く周知を図っていききたいと思う。

- ・節水や涵養の取組を行っている事業者等に報いるような取組、仕組みがあればよいと思う。
- ・節水や涵養の取組を行っている事業者等を、市のホームページ等で紹介していくような取組もよいのではないか。
- ・安曇野環境フェアなどのイベントで、節水器具のメーカー等にブースを設けてもらってはどうか。検討いただきたい。
- ・ヒアリングだけではなく、アンケート調査の実施も検討していただきたい。
- ・今回のヒアリング結果をまとめて、市のホームページ等に公表する際には、例えばエコタッチはどういったものなのか説明を入れるなど、取組の内容が分かるような形にしてほしい。

(2) 安曇野環境フェア 2022「安曇野水めぐり」について

【事務局から資料2に基づき説明】

- ・この「安曇野水めぐり」はとてもよい取組だと思う。
提案だが、小学生などの子どもを対象にして、安曇野市の水環境の実情等が分かるようなビデオを作って、それを小学校の昼食の時間に流すといった取組をしてはどうか。
- ⇒5月から6月頃にかけて、市内小学生を対象に水環境に係る出前授業を実施している。その中で、児童には水環境に関する理解を深めてもらっている。小学生に対しては、この出前授業を中心に今後も進めていきたいと考えている。
- ・この「安曇野水めぐり」を今後実施する際には、高校生にお手伝いをお願いして、参加してもらえば、小学生と高校生の交流、世代間の交流も生まれてよいのではないか。
 - ・信州山葵農業協同組合に、小学校の先生からわさび田見学への依頼がきて、これまで対応してきた経緯があるが、市が開催する今回の「安曇野水めぐり」のような取組と協働で実施していく形も考えてもよいのではないか。

2 協議事項

(1) あづみの水結のロゴマークについて

【事務局から資料3、別添資料に基づき説明】

- ・ロゴマークについて、8案示されているが、水環境審議会委員やあづみの水結登録希望者にアンケートをとって、最も得票が多いものがロゴマークとなるのか。
- ⇒最も得票の多いものがロゴマークに決定するわけではない。
お示しさせていただいた8案に対して、水環境審議会委員の皆様や、あづみの水結登録希望者の皆様の御意見をお聞きして、いただいた御意見を反映できるような形でブラッシュアップさせていただき、最終的には3案に絞りたいと考えている。
- ・別添資料について、図案と下の文字はセットになっているのか。

⇒図案とその下の文字、ローマ字まで含めてワンセットになっている。ただし、下部にあるロゴマークの説明文は含まない。

- ・図案と文字はセットとして考えたほうがよいか。

⇒基本的にはセットで考えてもらいたいが、この場ではさまざまな御意見をいただきたいと思っている。

- ・A案やB案のような水滴というイメージよりも、湧水をイメージできる図案がよいのではないかと思う。

例えば、G案の波のような図案の真ん中に湧水のイメージを入れ込むことなどが考えられる。

- ・ロゴマークを利用した資金調達などは考えているか。

⇒まずは地下水保全という観点から関わっていただく方を団体、個人を問わず募っていきたいというのが目的なので、資金調達とはつながらないと考えている。

- ・全体的に、図案に対して文字の部分が大きい感じがするので、文字の部分はもう少し小さくてもよいのではないかと思う。

- ・文字は入っていないほうが、使い勝手という面から考えるとよいかもかもしれない。

- ・図案に関して、水であったり、山であったり、いろいろと盛り込まれているが、何を伝えたいのかをはっきりさせたほうがよいのではないか。

水であっても、透明な水、きれいな水、冷たい水というイメージがしっかりと伝わる図案がよい。

- ・C案あたりも面白いが、これだと水に見えない。

- ・原点に戻って、安曇野の水をどう伝えたらよいか、水結のテーマは何なのかをはっきりさせたほうがよい。

3 その他

【事務局から、あづみ野排水路における地下水涵養事業等について説明】

<終了 15:30>

以上